

今はこんな様子だよ。

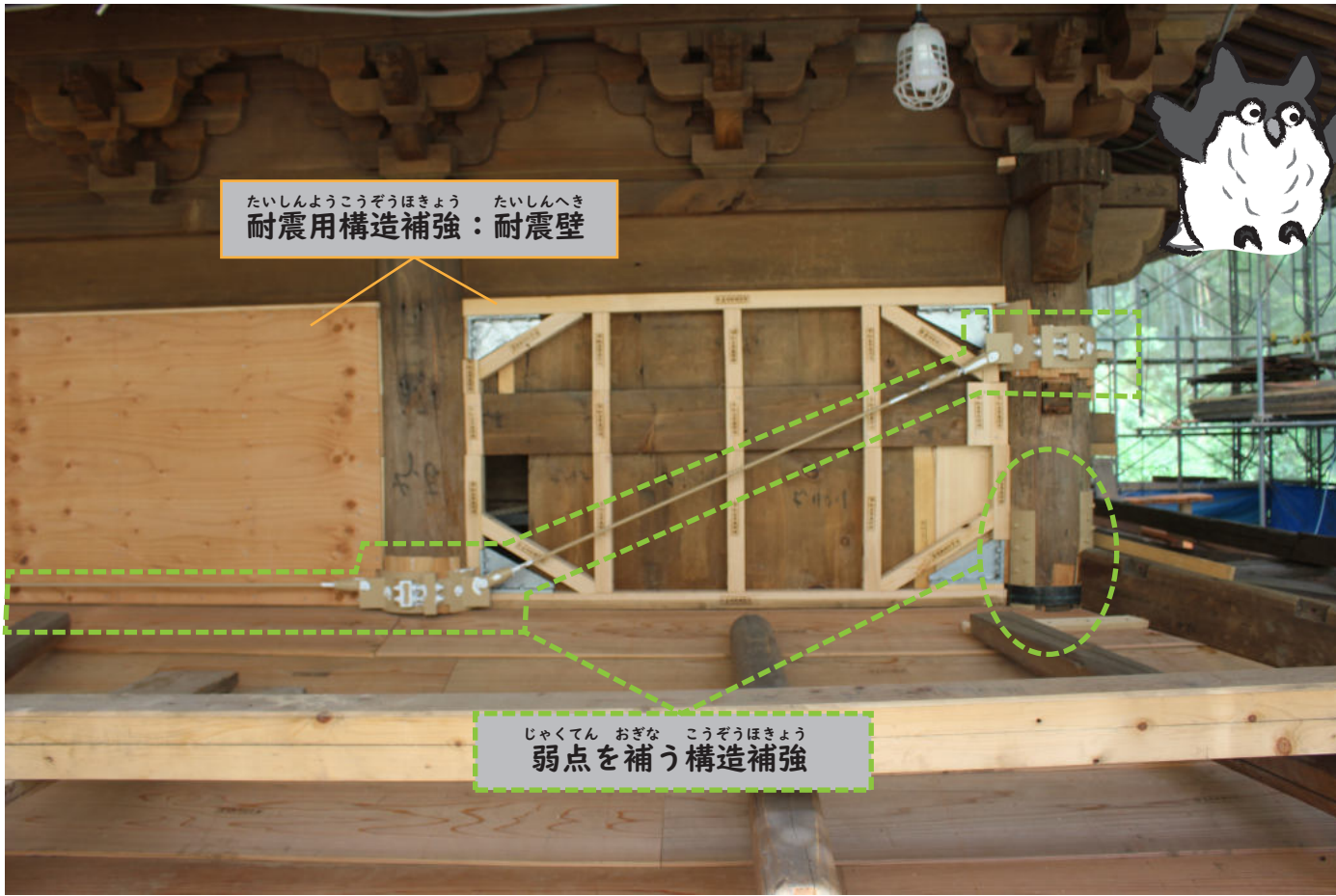


こうじ
工事の
げんば
現場より

7月1週目

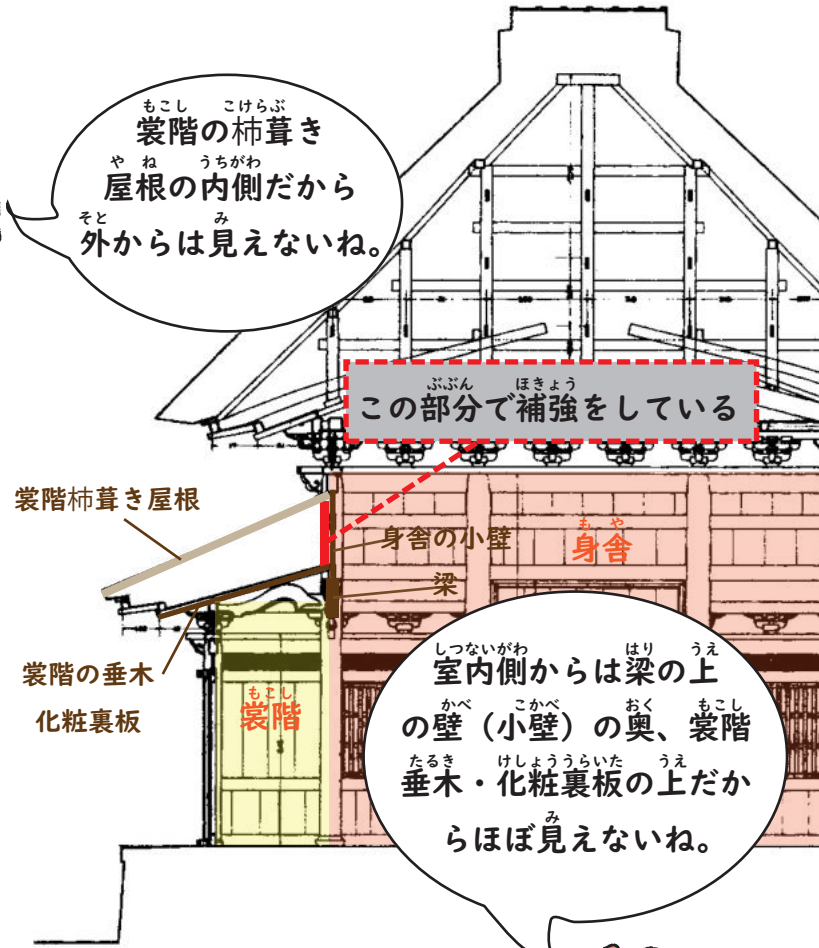
きゅうとうけいじ ぶつでん くたい たてもの ほねぐ だいじしん た きょうど ふそく こんかい こうじ
旧東慶寺仏殿の躯体（建物の骨組み）は大地震に耐えられる強度が不足していたため、今回工
たいしんほきょう おこな ほきょう み いち しょうらい ほきょうほうほう けん
で耐震補強を行いました。この補強はなるべく見えない位置に、そして将来よりよい補強方法が検
とう さい と か くたい えいきょう およ ほうほう せっち
討された際には取り換えられるように、躯体になるべく影響が及ばない方法で設置しています。

また、建物の規模・屋根の大きさに比べて柱や梁が細すぎる弱点があったため、構造補強を行う
ひつよう ほきょう み しつない くうかん そんなちよう かたち せっち
必要がありました。その補強もなるべく見えにくいように、また室内の空間を尊重した形で設置し
ています。



たいしんようこうぞうほきょう たいしんへき
耐震用構造補強：耐震壁

じゃくてん おぎな こうぞうほきょう
弱点を補う構造補強



もこし こけらぶ
裳階の柿葺き
やね うちがわ
屋根の内側だから
そとからは見えないね。

ぶぶん ほきょう
この部分で補強をしている

裳階柿葺き屋根

裳階の垂木
化粧裏板

しつないがわ かり うえ
室内側からは梁の上
の壁（小壁）の奥、裳階
たるき けしょうらいた うえ
垂木・化粧裏板の上だか
らほぼ見えないね。



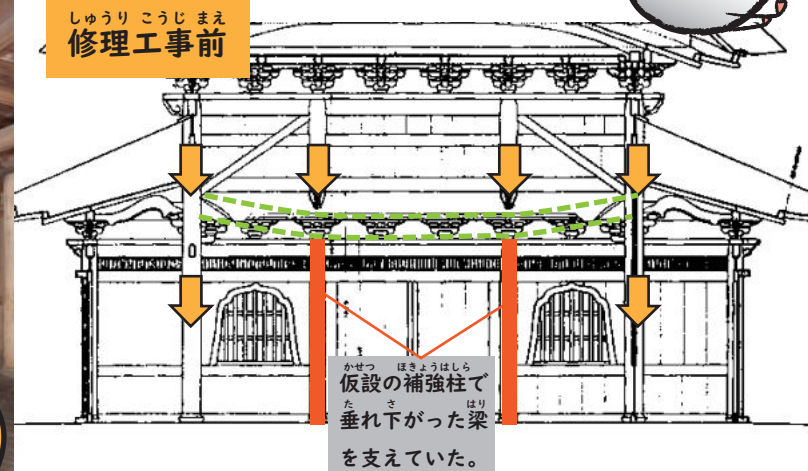
しつない なが はり さんげんこうりよう なが たい はば
室内の長い梁（三間虹梁）は長さに対して幅
うす うえ かじゅう じゅうぶん ささ した
が薄く、上からの荷重を十分に支えられず下に
たわみ、また大きな亀裂も生じてしまっていま
おお きれつ しょう
した。そのため修理工事前は支えとなる2本の
かしら かり はしらはり した た いじょうはり た さ
仮の柱を梁の下に立て、これ以上梁が垂れ下が
らないようにしていました。



しゅうり こうじまえ
修理工事前

はり さんげんこうりよう
梁（三間虹梁）

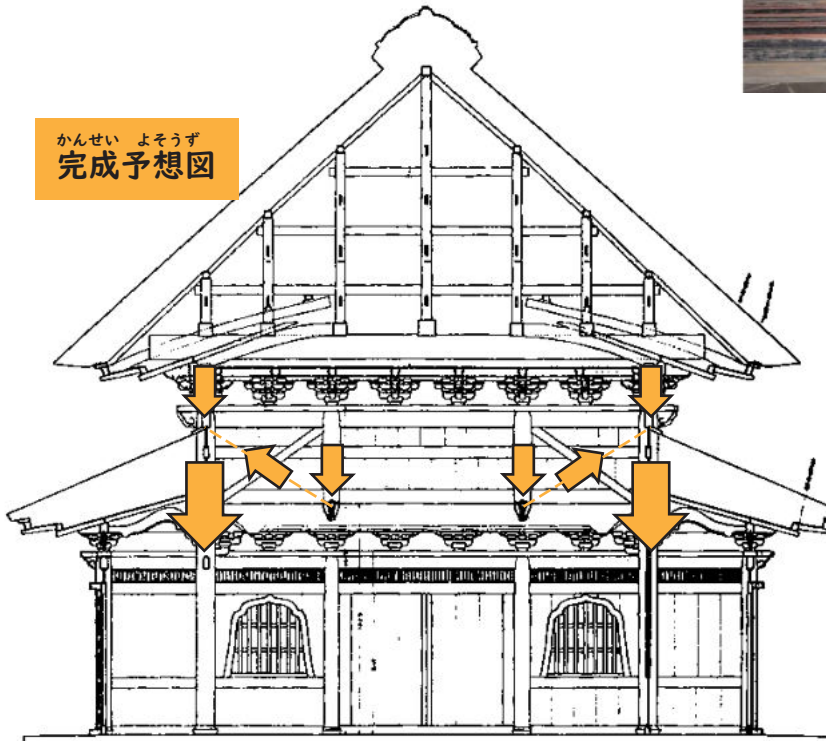
かせつ ほきょうはしら
仮設の補強柱



しゅうり こうじまえ
修理工事前

かせつ ほきょうはしら
仮設の補強柱で
垂れ下がった梁
を支えていた。

かんせい よそうず
完成予想図



かんせい よそうず
完成予想図



たいへいづか つ
大瓶束を吊りあげる
ブレース（壁の裏側）

たいへいづか
大瓶束

すみばしら
隅柱

たいへいづか すみ はしら
大瓶束を隅の柱か
ら引っ張り上げるこ
とで、上からの荷重
は柱が担うことにな
ります。梁には自ら
のおも
の重さがかかるのみ
なので、下から支え
る柱は不要になり、
ひろびろ ほんらい くの
広々とした本来の空
間を取り戻すことが
できます。